

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「新任職員ガイド」十日町市・小川 清貴

4.5

- 2 トピックス 「全国大会への支援を 今年は埼玉県開催」
- 3 視点 「親から子へ～公民館と歩む」 阿賀野市・鈴木 康寛
- 3 ひろば 「五泉市の女性学級」 五泉市・寺田 ユリ
- 6 実践記録シリーズ 「新潟市公民館改革職員研修会」 新潟市
- 7 サークル交流 「体力温存？」(関川村) / 「端切れに新たな命を吹き込んで」(南魚沼市)
- 7 素顔拝見 岡部 里恵さん(粟島浦村) / 牛腸 孝助さん(加茂市)
- 8 お元気ですか 「生きがい続けて15年」 村上市・大滝与志男さん
- 8 惠贈資料紹介 information



LIVE in 見附 (見附市)

表紙解説

今回で21回目を迎えました。出演する音楽愛好家自らが企画・運営するイベントです。

全国大会への支援を 今年も埼玉県開催

平成26年度の全国公民館研究集会(全国公民館大会)は埼玉県で開催されます。本年は、同大会で関プロ大会も併せて開催されます。

新潟県公連が加盟している関東甲信越静公民館連絡協議会が主催団体になっていきます。大会の主管は埼玉県ですが、主催団体の当県として大会運営等に最大限の支援をしなければならぬと思います。たくさんの方から参加をお願いします。大会の開催概要は次のとおりです。



全体会場 熊谷会館
プログラム
第1日目 全体会

期日…10月16日(木)
会場…熊谷会館

〔日程〕

受付11…40
開式12…40

- ・オープニングアトラクション(小鹿野歌舞伎)
- ・記念講演
作家 森村誠一氏

「人生の証明」
〜人生の裏りとは〜

第2日目 分科会

期日…10月17日(金)

会場…熊谷市、行田市

〔日程〕

・分科会・事例発表
10…00

・協議・指導・助言者講話
13…00

〔分科会のテーマ等〕

①まなびまなびあう公民館
〜つどい×まなび×むすぶ公民館の役割〜

②安心できる防災拠点の公民館
〜非常時に備えた日ごろの公民館活動〜

③寄り合い、支え合う公民館
〜共助〜による地域社会の活性化

④高齢者が活きる公民館
〜高齢者の社会参画の推進〜

⑤伝統・文化を継承する公民館

〜ふるさとの思いを伝承する地域づくり〜



②



③



分科会場

①熊谷文化創造館さくらめいと

②行田市教育文化センター
みらい

③行田市商工センター

第1分科会では、新潟経営大学教授の中島純氏が指導・助言者になっています。たく

さんの方から参加していただき応援していただければと思います。

【参加申込み】

6月に開催要項が配布され同時に申込みが始まります。締切が県公連に8月1日(金)までとなっています。

参加費は一人4千円です。

【関プロ大会】

今年も、全国大会と兼ねて埼玉県・熊谷市で行われます。

期日…10月16日(木)

会場…埼玉県熊谷市

「熊谷会館」

〔日程〕

受付…10…30

開式…11…00

表彰…11…20

引継…11…30

終了…11…40

表彰では、全国公民館連合会表彰として次の表彰が行われます。

①優良職員表彰

②永年勤続職員表彰

③功労者表彰

各市町村中央公民館に表彰者推薦のとりまとめをお願いしています。該当者がいると思われるので近県で開催されるこの機会にぜひ多数の推薦をお願いします。(田原)

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

視点

「親から子へ～公民館と歩む」

新潟県社会教育委員 鈴木 康寛



私が小中学生の頃の地域の公民館は古い木造の旧校舎でした。そこで書道を習ったり、部活動をしました。その体育館は床が傷んでいて剣道部だった私たち部員は、裸足だと危ないので皆ズックを履いて練習した思い出があります。それがやがて、鉄筋コンクリート造りの施設へと変わり、青年団になると会合やイベントで利用させてもらいました。楽しい思い出の詰まった場所でした。いつの頃からか足が遠退いてしまい『青春時代の思い出』としてその場所も日常生活の片隅に仕舞われていました。

ところが、子育てが始まってみると民間の施設には、親子で安心して、気兼ね無く出かけられる施設が少ない事に気づきました。そんな時、地域の公民館には、幼児向けの本を備えた図書室があったり催し物をやっていたり。親子・家族で楽しめる場所が在ります。最近わが町に、新しく建設された中学校に併設して市民図書室がオープンしました。郷土資料コーナーや絵本スペースがあるなど特色のある図書室です。是非、子どもと一緒に行きたい施設です。親がそうであった様に子等にも価値ある公民館の精神が継承されていくことを望みます。

H O T N E W S

掲 示 板

理事会・評議員会開催

当会の今年度第1回理事会・評議員会が次のとおり開催されます。

日時：5月20日(火)13:00～

会場：新潟市中央公民館

- 内容：
- 1 役員改正
 - 2 会務報告、会計決算
 - 3 活動方針、事業計画、予算
 - 4 県大会開催要項
 - 5 表彰基準改正
 - 6 その他

会議の冒頭では、来賓として迎えた県生涯学習推進課長様からご挨拶をいただきます。また、役員改選の年度であることから会長、副会長が改選されます。理事・評議員も異動があった市町村は改選されます。役員の詳細は6月号で紹介します。



昨年度の第1回評議員会

「五泉市の女性学級」

公民館運営審議委員 寺田 ユリ

三十年余の歴史を持つ五泉市の女性学級は自分達の選んだ学級長を中心に、運営委員を十一、三名で自主運営をしています。

公民館からは講師謝礼相当の運営費を受け、あとは学級生の会費を集めています。年度末には『春陽』という名前の記録冊子を発行し、一年の学習の記録と学級生の随想や俳句等も載せています。私はこの学級長の任を何年間もやってきま

したが、やっと若い学級長にバトンを渡すことができました。五泉市と隣町の村松町が合併し、学級にも村松の人が入学し、とても協力的に運営に取り組んでいます。また城下町の村松を歩くウォーキング学習では古きを訪ねる要点を考えた案内でまち歩きをしたり、文化祭等も作品を五泉会場に持参して発表したりと何事も

話し合いで決めながらバラエティに富んだ学習に、毎月の参加者の多いことが自慢です。

また料理学習は講師をお招きしないで各班ごとにレシピを考え、講師の役をします。材料も当番の班に報告し、当日の用意がなされます。ちなみに料理名を二品紹介します。「厚揚げのひき肉詰め」「五色キンピラ」。発想は家庭の主婦らしく、栄養、見栄えも良く、もちろんそのおいしさは格別!!

学習場所、印刷等々公民館にも大変お世話をおかけしています。



ガイド

皆さんも公民館に勤めるからには、「自分の事業」と言えるものをぜひ創り出してください。ただし、それは職員の独り善がりでの事業を創っているということではありません。住民の学習要求や地域社会の課題などに、しっかり根ざしていることが大事です。

勤める公民館について熟知しよう

自分の勤める公民館についてハード・ソフト両面で熟知しておくことも、職員の大事な務めです。施設利用の受付方法や使用料の減免基準は？各部屋や利用団体のロッカーの鍵はどこ？使う用途によってどの部屋が適している？各部屋の収容可能人数は何人？部屋に備え付けられている視聴覚機器の使い方は？この公民館ではどんな事業が行われていて、どんな団体が活動しているのか？

こういったことを今皆さんは、一生懸命覚えている最中でしょう。こうしたことを尋ねられたときに、的確かつ円滑に答えられるようになる、市民からの信頼度はかなり増すと思います。

私も新人職員時代、そういったことをスムーズに答えられず、来館者をイライラさせてしまったことがありました。「いや～、公民館に来て日が浅いので、何もわからなくて～」と言わなくて済む日を一日でも早くしたいものですね。

公民館に人を集めるだけが仕事ではない 公民館の外にも眼を向けて

自戒も含めて書きますが、公民館で仕事をしていると、公民館事業にいかにか人を集めるか、公民館の利用者数をいかにか増やすか、それ自体が公民館の目的だと勘違いしてしまうことがあります。

しかし、公民館の設置目的は、「市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」(社会教育法第20条)です。

そのためには、学習や活動の場所を公民館の中に限定する必要はありません。ある公民館研究者から聞いた話ですが、寺中さんは「俺は城(＝立て籠もって守りに入る建物)を作ったつもりはない。公民館は砦(＝攻めに出ていく拠点)だ」というようなことを言われたそうです。地域を良くしていくこうとする活動やそのための学習が広がっていくために、また公民館に足を運びにくい人がそうした活動や学習に参加できるように、公民館に集めるだけではなく、公民館の外に出て事業を展開するという視点も大事です。

また、公民館で仕事をしていると、公民館を利用している団体にばかり目が行きがちになります。公民館を利用してはいる団体の情報をしっかりと把握し良好な関係を築いていくことはもちろん、公

民館以外で活動している市民団体や地域団体の情報、そして、そういった団体のキーパーソンを把握し、協力関係を築いておくことも大切です。

公民館に勤めているから公民館の中のことしか知らないではなく、公民館の設置目的を十分に果たすためにも、視野を広く保って自治体や地域社会の情報をつかんでおきましょう。

公民館の仕事の魅力

今まで書いてきたことを言い直せば、公民館はそこで展開される学習を通じて、自分の人生を自ら切り拓くため、地域社会や世の中がより良くなるための力をつけたり、仲間を作ったりする場と言えます。

公民館の仕事の魅力は、市民がそうした力をつけたり、仲間と出会ったりする人生の大事な転換点に立ち会えることにあると私は考えています。「●●さんが紹介してくれた公民館のサークルに参加して、私の人生はとても豊かになった」「●●さんが企画した公民館事業がきっかけで、とてもいい活動が地域に生まれた」などと言われたら職員冥利に尽きますね。

ぜひ、公民館の仕事の魅力を実感できるよう、お互いに努力と実践を重ねていきましょう。新任職員の皆さんが、県内各地で魅力的な実践を創り出していくことを楽しみにしています。



今年2月、青年学級の雪像づくりにて学級生や講師と

参考：公民館について学ぶ雑誌・図書

- 雑誌 (いずれも月刊誌)
- 『社会教育』(日本青年館発行)
 - 『月刊社会教育』(国土社発行)
 - 『月刊公民館』(全国公民館連合会発行)
- 図書 (私が実際読んだもので、お薦めのもの)
- 寺中作雄『社会教育法解説／公民館の建設』(国土社、1995年) ※絶版なので、職場で購入してあるものや図書館の蔵書等でお読みください。
 - 長澤成次編『公民館で学ぶ』1～4 (国土社、1998年・2003年・2008年・2013年)
 - 片野親義『社会教育における出会いと学び 地域に生きる公民館入門』(ひとなる書房、2002年)
 - 岡山市職員労働組合公民館職員の会編『市民が輝き、地域が輝く公民館』(エイデル研究所、2002年)
 - 「月刊社会教育」編集委員会編『公民館60年 人と地域を結ぶ「社会教育」』(国土社、2005年)

特集



十日町市
小川 清貴

自己紹介

私は、十日町市役所に採用されてから5年間公民館に勤務しました。その後、生涯学習課や「大地の芸術祭」の担当課、図書館の勤務を経て、2012年度から再び中央公民館勤務(生涯学習課と兼務)となり、今年度は通算で公民館8年目になります。

そんな私から、公民館新任職員の皆さんに向けて、仕事の手がかりとなりそうなことや公民館の仕事をするうえで大事だと思われることなどを何がしかお伝えできればと思います。

「公民館」とは？

公民館勤務が決まったときに、「公民館」ってどういう意味なのかな、と考えませんでしたか？「公民館」という言葉は、見たとおり「公民」と「館」の組み合わせで成り立っています。

「館」は、建物、屋敷あるいは施設というイメージがすぐに思い浮かぶと思いますが、「公民」とはどのような意味でしょうか？

実は、「公民館」とそこでの「公民」という言葉の意味については、戦後に公民館制度が創設される際、中心的な役割を果たした寺中作雄さんという文部官僚が、その著書『公民館の建設』(1946年)の中で、以下のように解説しています。

公民館は公民の家である。

公民たる者が公民の資格に於て集まり、其処で公民として適わしい修養や社交をする施設という意味である。

此処に公民と言う言葉は市制町村制に於て市町村の公務に参与する為の資格即ち選挙資格を持つ者として定められた条件に該当する市町村住民の意味ではなく、実質上の公民資格ある人又は公民資格を得んと務める人の意味である。言い換えれば、自己と社会との関係についての正しい自覚を持ち、自己の人間としての価値を重んずると共に、一身の利害を超越して、相互の助け合いによって公共社会の完成の為に尽す様な人格を持った人又は其の様な人格たらんことを求めて努める人の意味である。(原文ママ)

このように、そこに集い学ぶ人たちが自分のことを大事にしながらも社会が良くなるために一生懸命活動する、そのための拠点、というイメージが創生期の公民館には込められていたのです。

「新任職員

公民館が事業を行うということ

では、公民館はどんな事業を行うのか？それが、社会教育法第22条に例示されています。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

寺中さんは『社会教育法解説』(1949年)で、「公民館は単に外部からの申込や、依頼を待って消極的に動くべきものではない」とし、上記の一～四を積極的に推進することが公民館事業の中心だとしています。

新任職員の皆さんは、前任者から引き継いだ事業を無事にこなすことが、まず目の前の仕事になるかと思います。しかし、住民からの要望も含めた地域の状況や社会状況をふまえて、事業をどんどん改良したり、新しい事業を企画立案したりすることが求められます。中には、これまでの仕事の大半が定型的な事務で、物事を企画する仕事には慣れていないという方もいるかもしれません。しかし、公民館は決まりきったことをしているだけでは、設置目的を果たせません(=地域社会や自治体にとって有用な公民館になり得ません)。

私も新採用で公民館に配属になって数年してから、前任者から引き継いだ事業しかしていないではないか？自分が創り出した事業といえるものがないではないか？と自問自答としたことがありました。それから「みんなで考える介護問題講座」、「地域の歴史講座」などの新しい講座を企画・開催しました。2年前に公民館に戻ってきてからも、長年続いている青年学級を担当しながら「東日本大震災復興支援を考える講座」や学習会「これでよくわかる！放射線・放射能の基礎知識」、図書館と共同開催した「読み聞かせボランティアスタート!!講座」など、毎年新しい事業を企画するようにしています。



「東日本大震災復興支援を考える講座」
(2012年度)で熱心に意見交換する受講者

実践記録

194

シリーズ

新潟市公民館改革職員研修会

新潟市教育委員会公民館研修委員会

○はじめに

公民館には、「まちづくり」、「地域づくり」、「人づくり」の使命があります。そのためにはどのように事業に取り組んでいくべきか、それを職員自身が検証する機会として、平成22年度より市内全公民館の職員を対象にした「公民館改革職員研修会」が始まりました。

研修会初年度は、その成果を発表する場として、同年「にいがた公民館改革フォーラム」が開催され、その中で、新潟市公民館は以下の「公民館改革宣言」をしました。

新潟市公民館改革宣言

新潟市の公民館は、地域の人たちが主体となって、地域の持つ力を最大限に発揮できるよう、一緒に考え、学びあい、学びの成果を生かして、地域の絆づくりを支援します。私たちは、地域に出かけ、一緒に取り組み、地域を元気にします。

この宣言を着実に推進するため、職員の意識改革や資質の向上を目的として、継続して同研修会を行っています。

○今年度の改革職員研修会の概要

- 日 時：平成25年12月8日(日)
午前9時30分～午後4時30分
- 会 場：西川多目的ホール、西川地区公民館
- プログラム

内 容	講 師
高橋中央公民館長あいさつ	
基調講演「新潟市の目指す創造都市と公民館」	新潟市長 篠田 昭
講 義 「地域との連携を探る」	新潟医療福祉大学 副学長 丸田 秋男
講 義 「地域と学校パートナーシップ事業の現状」	地域と学校ふれあい 推進課長 河内 一美
事例発表	
ワールドカフェ テーマ「一年間の地域との協働を振り返る」	
斉藤教育次長による講評	

- 参加者：公民館職員・嘱託職員 122名

※今年度は、基調講演と講義「地域との連携を探る」のみ、公民館運営審議会委員18名、公民館活動協力員16名の



皆様にもご参加いただきました。

●主な内容

講義「地域との連携を探る」

新潟医療福祉大学の丸田秋男副学長に、地域コミュニティ協議会と公民館の連携や公民館職員に求められる専門性についてご講義いただきました。



事例発表

職員が、自館の事業の事例を発表しました。

まず西地区公民館の職員が「地域と学校パートナーシップ事業」について、次に亀田地区公民館の職員が「コミュニティーコーディネーター育成講座」について、事業のこれまでの経緯や具体的な講座内容等の紹介をしました。

ワールドカフェ

「1年間の地域との協働を振り返る」をテーマにワールドカフェを行いました。地域と協働する中で、得られた成果やうまくいかなかったことなどについて、異なる公民館の職員同士が意見交換を行い、また同時に交流を深めました。



グループワークの様子

話し合いをもとに、地域と協働する上で重要と感じたポイントを各グループ3～5つ発表しました。



全体発表の様子

○今後について

公民館職員は、地域課題を見つめ、地域と協働し、地域に出かけ、自らがコーディネーターともなる役割を持ちます。そのためにはアンテナを高くし、常に意識改革をしていく必要があります。職員の異動もある中、意識付けにつながる研修は、内容や手法をさらに充実させながら、今後も継続していく必要があると考えます。

体力温存？

トキめきクラブ

一字一字も書けない…文もウマくまとめられない…そんな私ですが、音楽が鳴ると自然に体が動く、そう私はリズムウォークにはまって早、四年目を迎える所です。

関川村にトキが舞いおりた時期だったのでトキめきクラブに…生いきに二年目位に同じ曲同じ動作に一寸不満も有りましたが、毎月四回のリズムウォークを楽しんでいます。50代から80代中には男性も居て頼もしいです。(会員約30人)

前半リズムウォーク、水分を取りながら、後半チューブとマットを使って肩、腰、足



のケア等をやって老いた体をいかに若く見せるか楽しみながらボケ認知症にならない体作りに日々努力？してます。

関川村・トキめきクラブ

渡辺 カノ 記



端切れに
新たな命を吹き込んで

パッチワーク・キルト

昨年、長年ご指導いただいていた講師の先生が急逝され、存続が危ぶまれましたが、講座生みなさんの熱意で新たな取りまとめ役の方が決まり、活動を続けています。

毎週金曜日の午後、雪降る冬でも休まずに活動を続けているのは、何ととっても「仲間とおしゃべりしながら作るのが楽しいから」。いつかは

作するのがみんなの夢です。

初めての方は、材料の布をどうするか、買って来なければならぬのかと悩まれますが、なるべく家にある端切れを利用していきます。端切れが新たな小物に生まれ変わるので、「エコ」な面からも注目される手芸です。

まず何を作るか作品を決めて、それから布を選びます。一番悩むのは「配色」で、あえて決めるのですが、作品が出来上がってみると、思っていたのと違うことも…。そんなところも楽しみの一つです。ふと見れば、お仲間の持ち物はポーチやバッグなど小物のすべてがパッチワーク！本当にパッチワークが大好きな皆さんです。



南魚沼市・中央公民館講座
事務局 井口由美子 記

4月1日より栗島浦村職員として採用され、教育委員会に配属となり生涯学習・社会教育を担当する、岡部里恵さんを紹介します。

岡部さんは埼玉県出身。大学を卒業後に民間企業で勤務をしていたが、人の役に立つ仕事がしたいという理由から、単身で栗島へやってきました。

彼女の良いところは、礼儀正しく、元気いっぱいなところ。毎朝、事務室に彼女の元気な声が響きます！



栗島浦村教育委員会
主事補 岡部 里恵さん

彼女の主たる担当は生涯学習・社会教育の他、児童手当、子育て支援、広報、そして栗島浦村の一大プロジェクト、しおかぜ留学と広範囲に及びます。大変な仕事ばかりですが、持ち前のバイタリテイにより、克服してくれるものと信じております。

(栗島浦村教育委員会教育長職務代理者

渡邊 暁)

4月から加茂市公民館長に就任された牛腸孝助さんをご紹介します。

これまで、建設課、総務課など市民の生活基盤や環境整備などを担う重要な部署を歴任されてこられました。

教育関係部署はまったく初めてで「毎日がドキドキの連続」と就任当初は不安がっておられましたが、温厚な人柄とユーモアある語り口で利用者や来館者



加茂市公民館
館長 牛腸 孝助さん

に接し、着々と〈館長ファン〉が増加中です。

また、私たち公民館職員の相談にも親身に対応くださる姿勢に、「優しい！頼もしい！」と感じる毎日です。

これから、大きな事業が続きますがよろしくお願いたします！！

(加茂市公民館 小柳 豪志 記)

素顔
拝見

岩手県社会教育連絡協議会では、震災記録誌「3/11 大震災を伝える その時 公民館は」を発刊しました。過去2年間にわたり、岩手県内の公民館や関係者から聞き取り調査と原稿を収集し、記録誌として編集しました。

冊子は、岩手県内の各公民館が3・11の地震発生時の様子と1次避難、2次避難の状況を生々しく報告しています。避難



所としてその時必要なものや担当者として感じたことなどを現場にいたものならではの臨場感溢れる内容で構成されています。

問い合わせ
盛岡市教育委員会生涯学習課
担当：山口
〒020-8532
盛岡市津志田14-37-2
TEL 019-651-4111
(内7342)
E-mail:
edusgs@city.moriokaiwate.jp

その時 公民館は
恵贈資料紹介
岩手県社会教育連絡協議会

お元気ですか



「生きがい続けて15年」 大滝与志男(村上市:山北地区)

郵便局での38年間の勤務を終えて早20年、現役時代は「仕事人間」でしたが、退職してからは家族や地域の仲間を大切にしながら生活しています。村上市山北地区の観光資源「松尾芭蕉が歩いた出羽街道石畳古道」のガイドを続けて15年がたちました。最初は、歴史について興味がありませんでしたが、お客様が喜んでくださる笑顔やお礼の手紙に背中を押されて、石畳の修復など環境整備も進めてきました。昨年11月には、演歌「出羽街道石畳」のCDを発表することができました。また、公民館活動では、高嶺大学(高齢者大学)や、グラウンドゴルフを週3回仲間と楽しんでいます。いつまでも健康であるために、自分自身が楽しみながら続けられる「生きがい」を持つことが大切だと実感しています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

information

<県公連ホームページ更新中>

県公連のホームページを公開しています。検索は「新潟県公民館連合会」です。

3月末現在で5年分の公民館月報を掲載しています。今後は発行済み(当年度は除く)の月報を順次掲載していきます。また、新年度の役員組織や地区の活動等も更新し、研修、大会等の活動写真も掲載します。どうぞご覧ください。

土砂災害防止月間

～みんなで防ごう土砂災害～

6月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進するための取組みに協力しています。

新潟県治水砂防協会

会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき
多忙な新年度のスタートから1ヶ月。お疲れではありませんか。G・Wでリフレッシュといきたいところですが家庭の事情で余計疲れる人も。お気の毒。新潟はサクラが終わり緑の季節到来。発想を変えて、身近な

里山などに出かけ景色をながめて癒しの時はいかがでしょうか。冬の間じつと耐えていた植物が一斉に芽吹いて来る力強さに必ず癒されると思います。という理由で友人と里山でゴルフ。やっぱり疲れますね。(田原)